

地域と協同し共創の社会をめざす



第38回

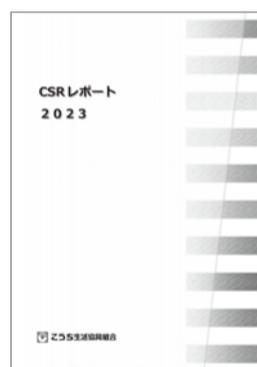
通常総代会を開催しました

6月22日(木)にこうち生協第38回通常総代会を高知県立県民文化ホール オレンジで開催しました。

総代定数309人中のうち、本人出席87名、書面出席216名の303名が出席して、すべての議案が可決承認されました。

2023年度第38回通常総代会議案

- 第1号議案 **2022年度みんなですすめたこと**
 - 2022年度事業報告および決算関係書類承認の件
 - 監査報告
- 第2号議案 **2023年度みんなですすめたいこと**
 - 2023年度事業計画および予算案承認の件
- 第3号議案 **定款の一部変更承認の件**



議案書とCSRレポートをお届けします

第38回通常総代会の議案書をご希望の方は、こうち生協運営企画グループまでお電話でお申し込みください。配送または郵送でお届けします。

日頃よりこうち生協のご利用、運営と活動にご参加いただきありがとうございます。2022年度もコロナ禍での一年となり、引き続き感染予防対策等、気遣いの多い暮らしが続きました。それに加えて猛烈な台風の接近、観測史上最大の積雪を記録した大雪など、自然災害も多く発生した年となりました。そうした中で、私たちの事業や活動が、組合員の皆様や地域の暮らし・命を支えているということを実感する一年にもなりました。私たちの事業や活動の先には組合員さんがいてくれるというコトを忘れずにいたいと思います。ありがとうございます。

さて、世の中は脱炭素社会、SDGsに向けた動きを加速化しています。組合員の皆様も、サステナブル・エシカル商品を選んで購入するなど地球環境を考え、また「困っている人、暮らしの不安に対して自分ができることをする」という想いを行動に表しています。高知県内の人口は過去100年で最も小の人口となるなど、人口減・少子高齢化が加速度的に進行しています。そんな中、持続可能な社会を、地域をつくるために、地域の暮らしや環境を考える「場」に、こうち生協がどうかかわっていかれるかが問われています。ここ高知の地で、生協「が」ではなく、生協「も」一緒になって、持続可能な地域づくりや事業・活動を通じて貢献していきます。こうち生協は、地域と協同し、共に創る「共創」の社会を目指していきます。



理事長
佐竹 一夫

第38回通常総代会の開催にあたって



2022年度／みんなですすめたこと



1

いつ災害が起きても対応できるよう、防災・減災への意識を高めました。

「高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル」に先立ち実施された、災害時支援協定に基づく、物資供給受け入れ訓練に参加しました。

2

地域で暮らす一人でも多くの方々に、「コープがある生活」を実感していただきました。

(1) 共同購入事業

- ▶ 2022年4月よりコープアプリがスタートし、WEB注文や明細書の電子閲覧が可能となったことで組合員さんの利便性が向上しました。
- ▶ 夕食宅配は中土佐町久礼、北川村へエリアを拡大しました。



(2) 店舗事業

- ▶ セミセルフ、フルセルフレジを導入し、清算作業の効率化を図りました。
- ▶ 社会見学やイベントを通じて、近隣の小学校や幼稚園と交流し、地域との繋がりを強化しました。



(3) 利用案内・サービス事業

- ▶ 高知県在住の子育て中の方を対象に、離乳食試食会を開催。より多くの方に生協を知ってもらう活動をしました。
- ▶ サービス事業部では自動車のコーティングや不用品の処分業者と新たに提携し、組合員さんへのお役立ちを拡げました。



(4) 共済・保険事業

- ▶ 共済推進に関わるスタッフのスキル向上を目的に、研修や学習会を定期的に行いました。

3

「わたしの声が届いている」と感じてもらえる運営を進めました。

- ▶ 商品モニターの活動では、組合員さんから集めた声を生産者さんにお伝えし、生産者さんからメッセージを頂いて共有することで、声の橋渡しをする取り組みをしました。
- ▶ 商品事故の内容や、それに対する回答を、回覧資料を通じて職員全体に共有しました。

4

組合員さんの多様な参加形態を助け、地域の暮らしと生協の関わりを深めました。

- ▶ たべる*たいせつキッズクラブでは感染症の拡大状況に合わせて、自宅で取り組めるレポート形式のイベントや、野外イベントを工夫しつつ開催しました。
- ▶ 四万十川中流域の産業活性化を目的とした、(株)四万十ドラマと(株)しまんと流域野菜が取り組む「しまんと地栗植樹プロジェクト」に協賛し、栗の木を50本植樹しました。以降5年間に渡って、組合員さんと共に栗の木の育成に取り組めます。



5

より安全でやさしい運転を心がけます。

- ▶ 各事業所で業務時に使用しているトラック以外の車両にもドライブレコーダーを設置。また、初めて配送する地区であっても安全な配送ができるようナビシステムを導入しました。
- ▶ 各事業所にアルコールチェックの機材を導入し、こうち生協の業務で車両を運転する全ての職員は出勤、退勤時に検査を行うようになりました。

6

素直に学べる組織風土と人づくりをすすめました。

- ▶ 新卒内定者が先輩職員と交流する内定者交流会を開催。就業後の具体的なイメージを持てるよう取り組みました。
- ▶ 効率良く働ける職場環境となるよう、WEB給与明細を導入しました。



7

生協ならではのネットワークを生かし、社会貢献、地域活動に積極的に取り組みました。

- ▶ 「高知県SDGs認定企業登録制度」に登録し、こうち生協のSDGsの取り組みを内外に周知しました。
- ▶ 認知症の方やその家族、地域の方が交流できる場として江ノ口ほおちよけんネットワーク会議とよしだサロン実行委員会主催の認知症カフェがオープンしました。こうち生協も実行委員会として関わる事で、地域の社会課題の解決に向けて協力しています。
- ▶ 障がいがある方がもっとスポーツに取り組める環境づくりの手助けとなるよう、高知県内のスポーツ団体が行う障がい者スポーツのイベントに協賛しました。

8

事業の効率を落とすことなく、組合員さんにとって利用しやすい、職員にとって働きやすい支所移設や店舗リニューアルに取り組みました。

- ▶ コープよしだのリニューアルでは、省エネタイプのリーチイン型冷凍ショーケースを導入するなど節電を意識した設備投資をした他、店舗外にあったトイレを店内に移築し、おむつ替え台を設置した多目的トイレを増設し、子育て世代が安心してお買物に来ていただけるようになりました。
- ▶ 安田支所、四万十支所の新築では、災害リスクの回避を目的に、津波などの浸水被害の想定エリア外の場所に移転しました。



2023年度 / みんなで すすめたい こと



- ①地震・台風・大雪などの自然災害や感染症の蔓延への対応力を強め、リスクに対するの備えや対策をすすめていきます。
- ②地域や組合員さんに必要とされる組織を目指し、「生協で買いたい」「生協から買いたい」という商品づくりや仕組みづくりを構築し、「コープがある生活」を実感していただけるようにします。
 - (1) 共同購入事業
 - ▶ 仲間作りと利用再開を全支所で取り組み、利用組合員を増やしていきます。
 - (2) 店舗事業
 - ▶ 欲しいものがある品揃え、メニューが浮かぶ買い場、決済の利便性向上など、気持ちよく買い物ができることで、来店してくれる人を増やします。
 - (3) 利用案内・サービス事業
 - ▶ 高知県全域のエリアを支援対象とし、従来の広報手段は大事にしながら、SNSを活用した情報づくりを強め組織拡大を進めます。
 - ▶ 提携店との関係を深め、組合員さんにとってより身近で、子育て世代から高齢者までが利用しやすいサービスの提供を目指します。
 - (4) 共済・保険事業
 - ▶ 組合員さんの暮らしに必要な保障を、共済を軸としながら、共済では補いきれない個々の組合員さんの保障ニーズに対して保険(原則、全国制度の団体保険)もセットにして総合的に提案していきます。
- ③組合員さんの声を受け止め、応えていくことで「わたしの声が届いている」ということを感じてもらえる運営をすすめます。
- ④持続可能な社会づくりのために、組合員さんの多様な参加形態を広げ、地域や組織をつなげる活動をしていきます。
- ⑤より安全で地域にやさしい運営を心がけていきます。
- ⑥共に「考え、学び、育つ」ということを基本に、素直に学べる組織風土と人づくりをすすめます。
- ⑦組合員さんや県民の暮らしの安心をすすめていくために、行政や他団体とのつながり、生協のネットワークを生かし、社会貢献、地域活動に積極的に取り組んでいきます。
- ⑧組合員さんの財産である資金・資産を適切に管理運用し、健全な運営をしていきます。

2022年度 決算報告と 2023年度予算

[2023年3月31日現在]

2022年度末現在の
組合員数 104,462人

内訳
共同購入 / 74,919人
(うち個人宅配など 32,775人)
店舗 / 29,543人

2022年度 決算報告 (1万円未満切捨)

2022年度 貸借対照表

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産	38億1,253万円	III 流動負債	17億4,298万円
II 固定資産	45億3,724万円	IV 固定負債	7億772万円
(1)有形固定資産	40億6,513万円	負債合計	24億5,070万円
(2)無形固定資産	1,452万円	(純資産の部)	
(3)その他固定資産	4億5,759万円	V 組合員出資金	45億5,352万円
資産合計	83億4,978万円	VI 剰余金	13億4,555万円
		法定準備金	5億4,200万円
		任意積立金	5億5,100万円
		当期末処分剰余金	2億5,255万円
		(うち当期剰余金)	1億2,053万円
		純資産合計	58億9,907万円
		負債・純資産合計	83億4,978万円

2022年度 損益計算書

(2022年4月1日～
2023年3月31日)

科目	金額
供給高	118億1,721万円
供給剰余金	29億6,105万円
事業総剰余金	36億4,339万円
事業経費	35億6,846万円
事業剰余金	7,492万円
事業外損益	8,317万円
経常剰余金	1億5,810万円
特別利益	838万円
特別損失	1,234万円
税引前当期剰余金	1億5,414万円
法人税等	3,361万円
当期剰余金	1億2,053万円
当期首繰越剰余金	3,201万円
設備更新準備金取崩額	1億円
当期末処分剰余金	2億5,255万円

2022年度 剰余金処分

- 出資配当・利用割戻し
出資配当 0.05% 利用割戻し 0.4%

I 当期末処分剰余金	252,550,467円
II 剰余金処分額	
1.法定準備	13,000,000円
2.利用割戻金	42,688,067円
3.出資配当金	2,198,618円
4.任意積立金 (設備更新準備金)	120,000,000円
(周年事業準備金)	5,000,000円
合計	182,886,685円
III 次期繰越剰余金	69,663,782円

2023年度 予算

(1万円未満切捨)

科目	金額
供給高	118億9,091万円
供給剰余金	31億4,233万円
その他事業収入	5億2,921万円
事業総剰余金	36億7,154万円
事業経費	37億1,064万円
事業剰余金	△ 3,909万円
事業外損益	9,909万円
経常剰余金	6,000万円

会場からの発言要旨

(文責・総代会事務局)

東支所の
総代さん
から

- 東支所と南国支所の統合の時期について
- 中山間のJAが統廃合して購買部が縮小し、買い物難民となっている方へ生協が役立てることはないのか
- 組合員数は増加しているが、事業高が下がってきていることについて



森専務理事
からの
回答要旨

東支所と南国支所の統合の時期について…開発許可申請と農地転用の認可が下りる時期によって決定しますので確定ではありません。大きな投資にもなるので、計画を持ってすすめていきたいと思えます。

中山間地域へのお役立ちについて…この間コロナにより実施できていない行政訪問を再開することで、行政との連携を強化し、共に地域の皆さんにお役立ちできる方法を模索していきます。

組合員数は増加しているが、事業高が下がってきていることについて…コロナによる特需は2020年度が最高となって以降、21年度、22年度と供給は下がってきています。事業を行うにあたって、前年との比較も進捗の大事な目安となる中、数値が下落する事に対して、懸念されるものも感じます。では、2022年度と2019年度を比較してどうかというと、全体の組合員数は103.5%の伸長。共同購入(宅配では組合員数104.9%、供給高は112%となっています。前年、前々年からは下がっていますが、コロナ以前との比較では大きく伸長している状況です。しかしながら、水道光熱費などの経費が増大している現状を踏まえ、事業計画に沿った進捗を心がけていきます。

展示会を開催しました

総代会終了後にはカタログでお馴染みの取引先6社をお招きし、会場ロビーで展示会を開催しました。感染症対策により4年振りとなった展示会ですが、商品を見て、触って、取引先担当者と交流して頂く機会となった他、支所を超えて総代同士が交流する場となりました。



カタログ「まいこーぷ」の大きさが変わりました!



6月4回「まいこーぷ」よりカタログのサイズが、これまでより若干小さくなっています。紙の使用量は96.3%に縮小。重さは約213gから約200gと▲13gで93.9%に重量減。

こうち生協のSDGs「2030年までにカタログの紙使用量を21年比で10%削減」の目標からも紙の使用量3.7%削減は大きな前進です。

地球の未来のために、生協のカタログもリサイクル!見終わったカタログはそのまま捨てずに、配送担当にお渡しください。

仁淀ランタンを作ろう 5月18日(木) 横浜コープ委員会



高知県の特産品の手すき和紙を使ったランタン作りを行いました。手すき和紙に色を付け、適当な大きさにちぎり、ランタンのドーム部分を本体から外し木工用ボンドでちぎった和紙を張り付けます。ドームをとり付け、電池を入れるとオリジナルランタンの出来上がり!電池なので、災害時の停電にも役に立ちます。

くらしの助け合いの会(コープたんぼぼ)が総会を開催

5月27日(土)



高知市ちより街テラスにて、「第25回くらしの助け合いの会」の総会を開催。24名の会員が参加し、議案が承認されました。また、高知市基幹型地域包括支援センターの田部佳枝氏による「介護保険サービスと高齢者施設について」の講演をしていただきました。

コープたんぼぼの会員数は6月現在203名(利用会員:75名 活動会員:36名 援助会員:92名)です。

「環境にやさしい サステナブル商品」

コープよしだ・コープかもべ



こうち生協はSDGsの取り組みの一つとして、「持続可能な生産と消費」を進めています。

コープのお店では、6月5日の「世界環境デー」に合わせ、「環境にやさしい商品」のコーナーをつくり、「地球の未来のためにできること、考えてみませんか」とコープのサステナブル商品のコーナーを設置してご案内しました。

「国民年金」少しでも多くもらいたい! 上乗せ制度のご紹介

日本の公的年金制度は、20歳以上60歳未満のすべての方が加入する国民年金(基礎年金)と、会社員・公務員の方が加入する厚生年金保険の2階建て構造です。

私の前回のコラムでは、「少しでも保険料を減らしたい」という方々に向けて、ちよっと得する納付方法をお知らせしました。今回は、「少しでも年金を増やしたい」というニーズに応える国民年金の第1号被保険者(学生、自営業者の方など)だけが上乗せできるこの制度をご紹介します。(※どちらか一つしか加入できません。)

1 付加年金

毎月400円を年金保険料に上乗せして支払います。将来受け取る年金額は、 $200円 \times 納めた月数$ 分が上乗せされます。月額400円

2 国民年金基金

20歳から年金受給が始まる65歳未満までいつでも何回でも加入できます。毎月支払う掛け金は、加入年齢・加入人数・年金の種類、性別などにより異なります。掛け金は一定なので若いうちに加入するほどお得です。また、掛け金の全額が所得控除の対象となるので、一般の個人年金が最大で年額4万円までしか控除されないのに比べても断然お得ですね。

興味のある方は、国民年金基金のホームページを合わせてご覧ください。
こうち生協LPAの会 中山 亜子



日本年金機構HPより

4月 リサイクル回収報告

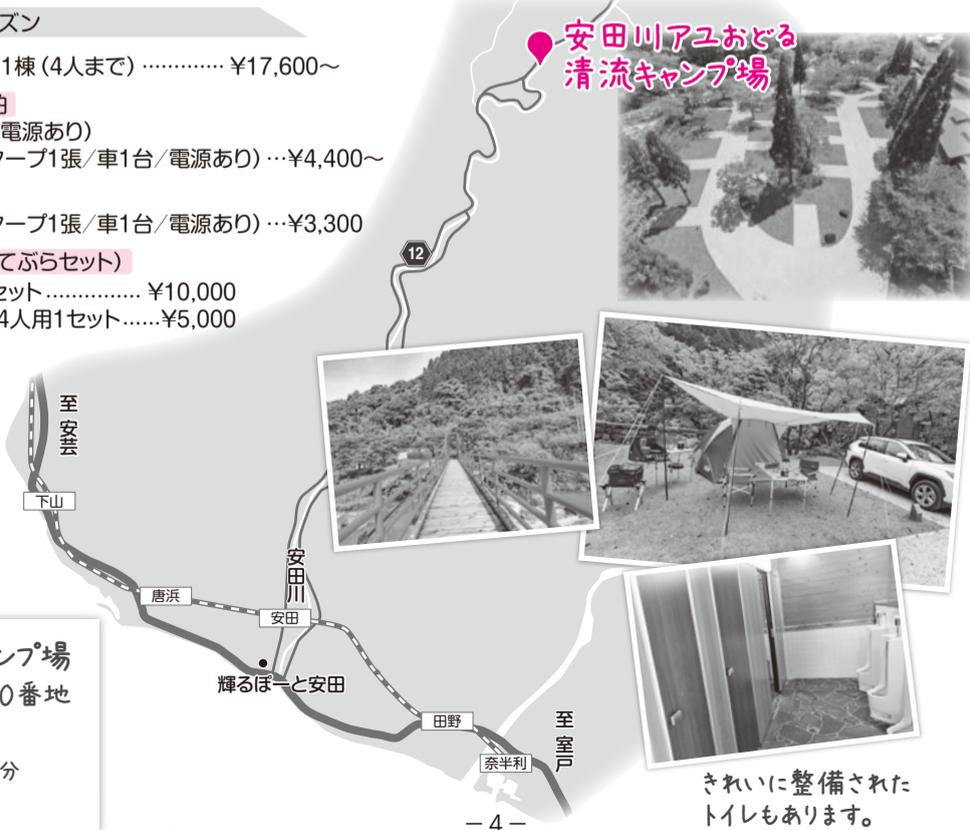
回収品		再生品	
飲料パック	117kg	トイレトーパーなど	
たまごパック	372kg	ペットボトルの蓋など	
食品トレイ	84kg	食品トレイ	
シッパー内袋	888kg	固形燃料	
チラシ類	149,680kg	再生紙	

※宅配でのたまごパック、飲料パックの回収量は年末に集計結果が判明するため、この数量には含まれていません。



レギュラーシーズン

- キャビン 宿泊1棟(4人まで)..... ¥17,600~
- テントサイト宿泊
キャンプサイト(電源あり)
1区画(テント・タープ1張/車1台/電源あり) ... ¥4,400~
- デイキャンプ
1区画(テント・タープ1張/車1台/電源あり) ... ¥3,300
- キャンプセット(てぶらセット)
・宿泊/4人用1セット..... ¥10,000
・デイキャンプ/4人用1セット..... ¥5,000



秋の紅葉など、豊富な自然を一年通して楽しめます。レンタル用品が充実!ドッグランサイトやツリーハウスなど、魅力あるフィールドとなっています。

高知の
おすすめスポット!

自然豊かなキャンプ場
安芸郡 安田町 安田川アユおどる
清流キャンプ場

お問い合わせ/安田川アユおどる清流キャンプ場
高知県安芸郡安田町大字船倉500番地
TEL 0887-39-2266

ごめん・なはり線「安田駅」から車で約20分
高知龍馬空港から車で約1時間10分

